

敵を愛し、迫害する者のために祈れ

あいづぼしん ひあい しんさん いぶかかじのすけ
 会津戊辰戦争の悲哀と辛酸を味わった井深梶之助は、戦争で受けた「汚名」を晴らさなければならないという強い
 思いをもっていました。16歳の少年であった井深は、会津の名誉回復のために新しい学問をすべく1870(明治3)年、
 上京することになりました。

しかし、上京後の勉強は経済的困窮を含めさまざまな困難に直面しました。そのような状況で出会ったのが、S.R.
 ブラウン宣教師でした。ブラウンから英語の指導を受ける中で、教科書に描かれていた絵が目にとまります。その絵
 こそキリストが子どもを祝福している絵であり、井深を聖書へ導くきっかけとなったのです。

1872(明治5)年、横浜海岸通りの小会堂(横浜海岸教会)にJ.H.バラによる聖書の講義を聞きに行きました。

また、ヘボン施療所小会堂でブラウンから聖書を学び、さらに聖書を簡潔に記した冊子を読みすすめます。

新約聖書を読むうちに、山上の説教(マタイによる福音書5章43~44節)に出会います。「敵を愛し、迫害する者
 のために祈れ」という言葉に、恨む心ではなく、キリスト教の精神によって自らを縛っていた考えを捨て、これまでの
 悩みや苦しみ、悲しみを乗り越えられることに気づいた井深は、心が平静になりこれこそ真の道であると信じるよう
 になり、ブラウンに信仰告白をして洗礼を受けることを相談します。

ブラウンは日本基督公会(現 海岸教会)長老小川義綏に願い出ることを勧めました。小川に洗礼を受けたいと申し
 出をすると、わが国では 公 にキリスト教信者になるという事には危険があるがそれでも洗礼を受けたいか、との質
 問がありました。これに対し井深は、もとよりその覚悟はありますと答え、それならばよろしいとすぐに認められました。
 こうして井深はヘボンの施療所小会堂においてブラウンより洗礼を受けて、クリスチャンとなりました。

時は、1873(明治6)年1月第1日曜日でした。翌2月24日ようやく「切支丹禁制の高札」撤去の布告が出されたのです。

POINT
 1864(元治元)年頃の横浜外国人居留地※



井深梶之助肖像写真 [1872(明治5)年]
 明治学院歴史資料館所蔵



明治学院大学図書館(白金キャンパス)
 ジオラマより

かながわぶぎょうしよ うんじょうしよ
 神奈川奉行所は幕府の認可のもと運上所の
 役人が語学を学ぶ場として、1864(文久4年、
 げんじ
 元治元)年7月にヘボンの意見を受け入れ、
 よこはまえいがくしよ
 横浜英学所を開設した。二人の日本人教師の
 ほかにS.R.ブラウン、ジェームズ、タムソンの
 三人の宣教師を教師となった。
 1873(明治6)年、井深梶之助はヘボン施療
 所小会堂(左写真の建物)で洗礼を受けた。

※外国人に対して居住と営業が許されるエリアのことを
 「外国人居留地」、略して「居留地」という



切支丹禁制の高札
 明治学院歴史資料館所蔵

POINT
 切支丹禁制の高札

一定 切支丹宗門之義八是迄
 御制禁之通りかたく
 相守へき事
 一 邪宗門之儀八固禁止之事
 明治二年十月太政官
 一定 一キリスト教はこれまでも
 禁令あり、これからもそう守
 るべきである
 一 キリスト教のような邪教は
 固く禁教とする
 明治二年十月太政官

1612(慶長17)年と1613(慶長18)年に江戸幕府はキリスト教信仰や布教を禁止する「禁教令」を出す。1711
 (宝永8、正徳元)年になると「切支丹禁制の高札」が立てられ、キリスト教宣教師や信徒を江戸幕府が取り締まるため
 に密告者へ賞金を与えることなどが書かれた。→アクティブラーニング

POINT
 教科書に書かれていた絵を
 見てみる



Marcus Willson
 [The first reader of the school and family series]
 国立教育政策研究 研究所教育図書館 貴重資料デジタルコレクション
 [The first reader of the school and family series]より加工

POINT
 おがわよしやす
 小川義綏



1831(天保2)年生まれの牧師
 タムソン宣教師から洗礼を受ける時、小川は「信仰
 のために死ぬ覚悟があるか」と問われてためらい、
 4年後に洗礼を受けた。(明治学院歴史資料館所蔵)

アクティブラーニング

- ◆もし、あなたが井深梶之助であったら、会津戊辰戦争で戦った相手を赦せるでしょうか。その井深の心の動きを考えてみましょう。
- ◆明治政府はなぜ「切支丹禁制高札」の撤去をしたのでしょうか？当時の諸外国との関係や日本の政治・社会の状況から考え、意見を出しあってみましょう。
- ◆1873(明治6)年に、「切支丹禁制の高札」撤去の太政官布告が出されますが、各地ではすぐに撤去されたのか、資料を捜して発表しあいましょう。

アクティブラーニングのための参考資料

- ・学校法人明治学院『井深梶之助とその時代 第一巻』
- ・学校法人明治学院『明治学院歴史資料館資料 第1集—井深梶之助生誕150年記念号』
- ・明治学院歴史資料館『明治学院歴史資料館資料集 第6集—アメルマン・フルバック・ブラウン・ヘボン・J.H.バラ史料集』
- ・わかばやししげる 若林 滋 他著『会津藩と新選組 改訂新版』
- ・えんどうしゅうさく 遠藤周作著『沈黙』
- ・ほしりょういち 星亮一著『井深梶之助:明治学院を興した会津の少年武士』